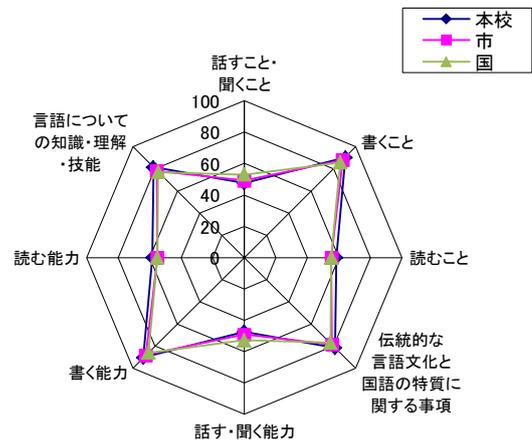


# 宇都宮市立平石北小学校第6学年【国語】分類・区別正答率

## ★本年度の国、市と本校の状況

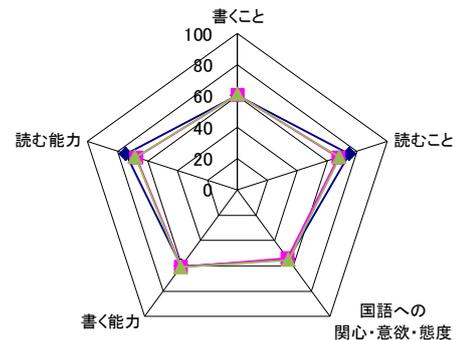
### 【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	47.6	49.3	53.0
	書くこと	90.5	88.2	86.0
	読むこと	58.3	55.2	55.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	81.5	78.5	77.2
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	47.6	49.3	53.0
	書く能力	90.5	88.2	86.0
	読む能力	58.3	55.2	55.2
	言語についての知識・理解・技能	81.5	78.5	77.2



### 【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと			
	書くこと	60.3	60.9	61.1
	読むこと	74.6	67.4	68.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	54.8	54.0	55.4
	話す・聞く能力			
	書く能力	60.3	60.9	61.1
	読む能力	74.6	67.4	68.1
	言語についての知識・理解・技能			



## ★国語に関する質問紙調査の状況

- ・国語に関して「将来役に立つ」と肯定的に考えている児童がほとんどである。
- ・授業に関しては、資料を読み取る、話の構成、内容のまとめ、などについては、肯定的回答は多いが、自信をもってよく考えているとは言えない児童が多かった。
- ・読書が好きかどうかについては、個人差が大きい。

## ★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語Aにおける領域の平均正答率は、宇都宮市の平均をやや下回っている。</li> <li>・目的や意図に応じた話の聞き方のスキルが身に付いていないと考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じた話の聞き方ができるよう、気を付けるべき観点などを示す。</li> </ul>
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語Aにおける領域の平均正答率は、宇都宮市の平均をやや上回っている。国語Bにおいては、ほぼ同じである。</li> <li>・文章の要旨を捉える問題や、音読のくふうの仕方を考える問題などは正答率が高いが、目的や意図に応じて、新聞の割り付けをを考えたり取材した内容をまとめたりする問題では正答率が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じて書く内容を考えられるようにするために、新聞を読んだり、新聞の情報をまとめたりする活動を取り入れる。</li> <li>・たくさんの情報のまとめ方については、国語だけでなく他教科においても横断的に指導する。</li> </ul>
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語Aにおける領域の平均正答率は、宇都宮市の平均をやや上回っている。国語Bにおいても、上回っている。</li> <li>・物語文においては、登場人物の気持ちや場面の移り変わりを読み取ることができているが、説明文の読み取りになると正答率が低くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書教材を用いて、学年に応じた読み取り方のポイントを各学年でしっかりおさえる。</li> <li>・資料と文章の関連をしっかりと捉えられるようにするために、新聞を読んだり新聞の情報をまとめたりする活動を取り入れる。</li> </ul>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語Aにおける領域の平均正答率は、宇都宮市の平均を上回っており、特に漢字を読む問題においては、正答率が100%であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇都宮市で行っている「宮っ子学力ステップアップシート」を活用し、漢字や計算の基礎的・基本的な学力の向上を図る。(継続)</li> <li>・授業中や朝の時間などに、音読や詩の暗唱・群読等に取り組み、言語活動の幅を広げていく。(継続)</li> </ul>